



2月のえんだより



こども未来局
保育・子育て推進部

令和8年2月1日 大島保育園

1年で一番寒い季節になりました。先日、園庭のビオトープに氷が張りました。氷に触る子どもたちからは「冷たい」「痛い」と目を丸くして氷の冷たさに驚いていました。でも天気の良い日の日中は暖かく「あつい」と上着を脱ぐ子もいます。少しずつ春が近づいていますね。2月は28日までと短いです、健康で楽しく過ごせるようにしていきたいです。

今月の保育目標

《乳児》

・冬の自然に触れながら、戸外遊びや室内遊びを楽しむ

《幼児》

・冬の自然に触れ、保育者や友だちと関わりながらじっくりと遊ぶ

今月の予定



3日(火) 節分

4日(水) 富士見中学校職場体験

(中学生が保育体験にきます)

園医健診

12日(木)～13日(金)

渡田中学校職場体験

(中学生が保育体験にきます)

13日(金) 入園前健診

18日(水) ダンススクール

(ダンスの先生がボランティアで来てくれます)

☆地域支援・関係機関との行事☆

5日(木) さらら保育室 交流保育

6日(金) さらら保育室 連携保育

13日(金) 向小学校交流(すいか組)

18日(水) お庭で遊ぼう

20日(金) さらら保育室 連携保育

26日(木) 小さな話し会(さくらんぼ組)



おしま 日和



2月3日は節分ですね。悪い物や災いを鬼に例えて追い払い、1年間元気に過ごせるように年の数だけ豆を食べるという風習があります。私が子どもの頃は豆をたくさん食べられる大人がうらやましかったのですが、いざ大人になって見ると年の数を食べるなんて無理ですね。うちの家では豆(大豆)を「鬼は そと」と言いながら外に向かって沢山の豆をまいていました。反対に部屋の中に向けては「福は うち」と2, 3粒の豆しかまかせてもらえませんでした。母は部屋の中で豆が散らかるのが嫌だったようです。外に思い切り沢山まいて楽しかった事を思い出します。年齢が小さい子は誤飲の心配もあるので、今は小袋に入った大豆も売られていたり、落花生をまくお家もあるようです。保育園では紙を丸めて豆に見立て豆まきしています。みなさんのお家ではどんな豆まきをするのでしょうか? 恵方巻も食べるのかしら? 子どもたちから節分の話が聞かれるのが楽しみです。

りんご1組担任記



絵本だより No 3

令和8年2月1日 大島保育園

風が強く、とても寒い日が続きますね。咳や鼻水が出やすく、体調を崩しやすい季節になっています。ご家庭でも、手洗いうがいに気を付けて元気に過ごしてくださいね。外で体をたくさん動かした後は、お子様と一緒に、お部屋でのんびり絵本を楽しんでみてはいかがでしょうか？保育園では2月まで絵本の貸し出しを行っています。係やクラスのおススメ絵本を紹介していますので、是非ご利用してくださいね。

2月に読みたいこんな絵本！

「まめのかぞえうた」西内ミナミ：作 和歌山静子：絵 〈鈴木出版〉

「ひと1つ、まめひとつあったとさ」と数を数えるごとにお豆が成長していく様子を描いた、成長と収穫、そして節分の豆まきにつながる楽しい数え歌の絵本です。お子さんと一緒に歌を歌いながら、楽しんでみてはいかがでしょうか？

「14ひきのさむいふゆ」いわむらかずお：作・絵 〈童心社〉



雪深い森に住む14匹のねずみ一家が、家の中でおまんじゅうを作ったり、ゲームをしたりして暖かく過ごし、雪がやんだ後にはそり遊びを楽しむ様子を描いた、家族の暖かさと冬の楽しさを描いた物語です。

「さむいよちゅんっ」すとうあさえ：作 飯野まき：絵〈ほるぷ出版〉

寒い冬、すずめたちが1羽、また1羽と集まって、「さむいよね」「さむいね」と言いながら「ぎゅっ」とくっついて暖めあうおはなしです。可愛い雀たちが温まっている様子をみると、何だかこちらもほっこりとした気分になります。



子どもたちの大好きな絵本を紹介します！ 皆さんもぜひ読んでみて下さいね！

0歳児クラス・さくらんぼ組・・・「だるまんシリーズ」

1歳児クラス・もも組・・・「ノantanシリーズ」「おべんとうバス」

2歳児クラス・りんご組・・・「はらぺこあおむし」「つのはなんにもならないか」

3歳児クラス・みかん組・・・「あっちゃんあがつく」「おしりたんていシリーズ」

4歳児クラス・バナナ組・・・「図鑑・日本の妖怪」「ポケモンをさがせ！」

5歳児クラス・すいか組・・・「おいしいのぼうけん」「ミッケ」



私の絵本エピソード！

私が保育園に通っていた頃、「ぐりとぐら」の絵本が印象に残っていて、特にカステラを食べる場面が大好きでした！とても大きな卵で作ったカステラは、ふわふわしていておいしそうで、先生に絵本を読んでもらうたびに「いつかこんなカステラの上で、皆で寝転がりながらお腹いっぱい食べられたらなあ」と、子どもながらに感じていたことを覚えています。

絵本係より